

出題のねらい

ア. 全般的なねらい

思考力や想像力を働かせて国語を正確に理解し、的確に表現する力をみるために、国語の基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題した。

イ. 各問いのねらい

- ① 「らしく」という言葉に対する違和感を契機にして、その意味するものを言葉の働きからとらえ、それが世間のイメージする規範を強制する力をもつことを説くとともに、学生が自分だけがもつ特質を大切に己を高める生き方をすることを期待するという説明的な文章によって、言葉の知識・意味、文章構成を考慮しつつ内容や筆者の主張を読み取る力をみるとともに、それを的確に表現する力をみる。
- ② 阿倍仲麻呂が唐の地で望郷の思いを詠んだ和歌に加えて、仲麻呂の死をいたむ李白の漢詩とその内容を表現に即して読み解くことで、交流のあった李白の仲麻呂に対する思いを明らかにした解説文を読むことで、古典に関する基本的な知識や内容を読み取る力をみるとともに、古典の中に息づく人間の生き方とこまやかな感情とをとらえ、それを的確に表現する力をみる。
- ③ 甲子園をめざす野球部の主将としての責任に加え、激励にくるOBからの圧力にも耐えて練習に励んできた主人公は、県予選で敗退するが、その経験のなかでOBや自身の気持ちに気づいていくという過程を描いた文学的文章を読むことで、文章の表現や構成に配慮しながら登場人物の心情を想像力を働かせつつ読み取り、それを的確に表現する力をみる。